

土砂災害危機管理研修会の開催について

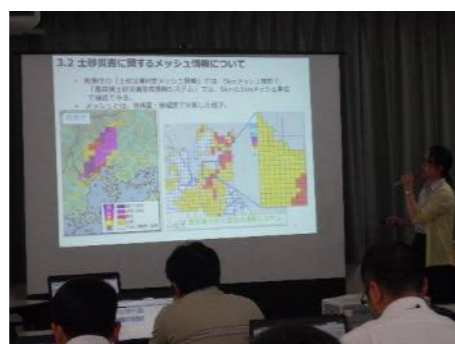
本格的な降雨シーズンを迎える7月11日から13日までの3日間、青森市内で「土砂災害危機管理研修会」を開催しました。この研修会は、土砂災害に対して、市町村が余裕をもって万全な警戒避難体制を執り、迅速かつ確実に避難勧告等を発令できるよう支援することを目的としており、参加対象は、土砂災害危険箇所又は土砂災害警戒区域等を有する38市町村（土砂災害警戒情報発表対象市町村）の防災担当職員であり、計47名の参加がありました。当日は、甚大な被害があった平成30年7月豪雨の直後だったということもあり、参加者は全員、真剣な表情で研修会に臨んでいました。

研修会では、土砂災害に関する基本的説明のほか、各種防災気象情報の収集・活用方法や警戒避難の考え方、平常時からの検討事項などについて講義した後、各自がパソコンを操作し、青森県土砂災害警戒情報システム等を利用したシミュレーション演習を実施しました。

研修後のアンケートでは、「これまではマニュアル上の知識だけだったため、具体的な作業を体験できたことは今後役に立つ」というような感想を多く頂きました。今後もこのような研修会を通して、積極的に市町村の支援をおこないながら、土砂災害による人的被害の軽減に結び付けたいと思っています。



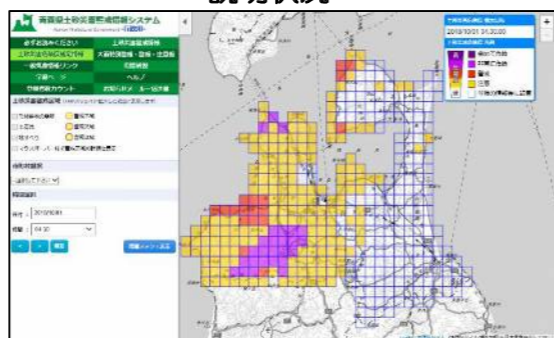
説明状況



説明状況



真剣な表情で臨む参加者



土砂災害警戒情報システム

これらの活動の様子は、県土整備部のFacebookに掲載しているののでぜひご覧ください！

県土整備部 Facebook : <https://www.facebook.com/aomori.kendo/>

編集・発行 青森県河川砂防課

〒030-8570 青森市長島1-1-1 青森県河川砂防課内 TEL017-734-9670/FAX017-734-8191

河川砂防課ホームページ : <http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/kasensabo/>

E-mail : kasensabo@pref.aomori.lg.jp

第37号 砂防トピックス 青森

青森県河川砂防課 編集・発行（平成31年2月）

平成30年度 土砂災害防止講演会

平成30年6月29日（金）、青森市において「土砂災害防止講演会」を開催し、県や市町村、砂防ボランティア協会、青森県建設業関係者など、約300名が参加しました。当講演会は、近年多発する土砂災害の防止に関する知識の習得及び防災意識の向上を目的としており、今回は一般社団法人全国治水砂防協会理事長の岡本正男氏に「災害からの教訓」、青森県営農大専攻非常勤講師・青森県気象予報士会副会長の藤田淳氏に「『大雨・洪水警報』の新基準について」と題して講演をしていただきました。



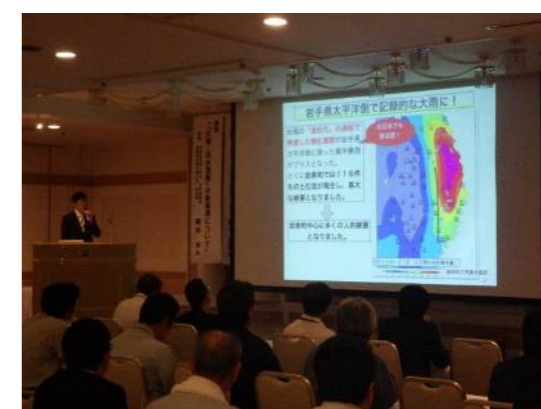
挨拶



会場の様子



岡本 正男氏の講演



藤田 淳氏の講演

川の防災安全教室

近年、地球温暖化に伴う気候変動などの影響により、いわゆるゲリラ豪雨が多発し、全国では毎年大規模な災害が発生しています。

青森県では、平成26年度より、川の防災と土砂災害の防止に関する知識の習得及び防災意識の向上を図ることを目的に「川の防災安全教室」を開催しています。

今年度は7月5日（木）に七戸町立天間東小学校で開催し、砂防模型と土石流・火砕流の二オイのサンプルを使用し、砂防施設と土砂災害について楽しみながら理解を深めていました。



砂防模型を楽しむ児童たち



土石流・火砕流の二オイをかく児童たち

雪崩防災教室

青森県では、平成8年度より、12月1日から12月7日までの「雪崩防災週間」に、雪崩災害に対する基礎知識の習得と、防災意識の向上を図る目的で、県内の小中学生を対象に雪崩防災教室を開催しています。

今年度は、12月3日（月）に新郷村立戸来小学校で開催しました。児童の皆さんは雪崩災害の恐ろしさ、雪崩の基礎知識とその対策、戸来小学校周辺の雪崩危険箇所について学びました。

児童代表から「雪崩の危険がある場所には近づかず、被害に遭わないようにしようと思いました。」との感想をいただきました。



学習ビデオ上映



防災教育資料を使用した説明

砂防ボランティアによる活動

青森県砂防ボランティア協会（加藤清和代表）では、下記の活動を行いました。

【ヤマメ放流支援と魚道清掃及び砂防施設点検】

北津軽郡中泊町滝ノ沢ふるさと砂防愛ランドの深谷沢砂防堰堤魚道周辺にて、「子供達と共に夢を創る会」が主催するヤマメ放流会が6月22日（金）に開催されました。

当日は中里小学校3年生による5000匹のヤマメの稚魚放流のほか、河川砂防課職員を招いての防災教育や、砂防ボランティア協会会員による砂防施設の点検・清掃を行いました。

防災教室では、土砂災害を防ぐ施設や避難の仕方などについて小学生にもわかりやすいようにイラストを用いて説明を行いました。



【蔵助沢砂防公園清掃・施設点検】

弘前市百沢にある岩木山神社周辺の蔵助沢砂防公園にて、公園清掃・施設点検を7月27日（金）に実施しました。

当該地域では、昭和50年8月6日未明に土石流災害が発生し、死者22名、重軽傷者31名の甚大な被害が発生しています。

これからも、過去の災害を忘れずに、周辺環境に配慮しつつ砂防堰堤等の施設整備・維持管理に取り組んでいきます。



【鳶川清掃及び砂防施設点検】

十和田市奥瀬にて「あおもりの川を愛する会」と合同で鳶川清掃・砂防施設点検を9月1日（土）に実施しました。

鳶川は美しい渓流であるとともに、上流からの多量の転石が河道に堆積し、下流域に被害を及ぼす川でもあります。

このため、昭和59年度から土砂災害防止のための施設として落差工や床固工が整備され、災害防止に大きな効果を上げてきました。

